

林の移り変わりについて、調査結果から予想してみる。

森の木を切った後、最初に生えてくる木は、明るい環境を好む木です。その木の林の下には、その木の子どもは育たず、暗めの環境でもジワジワと生長することができる木が生えてきます。そうやって林は移り変わっていき、最終的には安定した林（極相林）になります。このことを遷移（サクセッション）といいます。

ねらい

疑問の解決の方法として、調査し、データを考察し、自らの答えが導くことができるようになる。

達成目標

- ・ 樹木の遷移について知る。
- ・ 調査を通して答えが得られることを知る。



導入

こここの林はどの木の数が多でしょう。100年後にはどのような林になっていると思いますか？10m四方の方形区（正方形）を設定する（ひもなどを貼るとよい）。木を決めて、それぞれの担当者を一人以上決める。

ふりかえり・わかちあい

一連の調査活動と将来の林についての話し合いの中で「調べる、推察する」ことについて話し合う。

本体

方形区の中の担当の木を一本残らず数える。調査結果の数字を表（ワークシート）に書きこむ。この表から、将来の林の状態を推察し、話し合う。

まとめ

自ら調査をすることで、例えばそれが簡単なものであっても、何らかの疑問を解決することができる可能性があることを確認する。

実施のポイント

調査に適した（正確には表にして見やすい傾向が出る種類）を選択する必要がある。初期の頃にはえる植物にはコナラ、アカマツなどがあり、最終的な林としては、スダジイ、コジイ、アラカシ、タブノキなどがある。こういった樹種が混じって生えている場所が最適である。

- ◆ 所要時間 60分
- ◆ 人数 9人以上
- ◆ 関連教科等 総合的な学習の時間、理科
- ◆ 焦点を当てる能力 調べる、記録する、推察する
- ◆ 準備するもの 40mのひも（あるいはメジャー）
ワークシート、クリップボード、
筆記用具
- ◆ 安全のポイント 危険な状況を予想し、あらかじめ注意を促しておく

評価の視点

自分の分担の調査をていねいに実施していたか、調査の情報から答えを導くことができたか。

発展・応用

典型的な遷移途中の林でなくても、いろいろな林で同様の活動ができるが、表の読みとり方が難しくなる。

林 浩二 氏のオリジナルプログラムをアレンジして掲載

◆ 担当の木を決めましょう（担当者の名前を記入しましょう）

木の名前 (わからなければ ABCなど)	樹高が 身長より低いもの	樹高が 身長～樹冠部 より低い	樹高が 樹冠部まで到達 しているもの

木の名前 (わからなければ ABCなど)	樹高が 身長より低いもの	樹高が 身長～樹冠部 より低い	樹高が 樹冠部まで到達 しているもの
	本	本	本
	本	本	本
	本	本	本
	本	本	本

◆ この林は将来どういう林になるか予想してみましょう。

年 月 日 名前